

検証データ

最短時間検証

被検液①【PI リキッド】をウイルス液と 10 分間反応させた場合

本実験では、予備実験により高い抗鳥インフルエンザウイルス作用を有す可能性が認められた被検液①を、反応時間 10 分間に限定して試験を行った。

その結果、表 1 に示す成績が得られた。

すなわち、被検液①は、10 分間の短い時間の反応下で、生残鳥インフルエンザウイルスは 10 万分の 1 以下と、ほとんど認められないほど強力な抗鳥インフルエンザウイルス効果を示した。

表 1

被検液①【PI リキッド】の鳥インフルエンザウイルスに対する不活性化効果	
試験サンプル	10 分間
被検液①	≦0.5
試験ウイルス	7.0

※残存ウイルス力価($\log_{10}EID_{50}/0.2mL$)

※京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター 検証データ 一部抜粋出典